

**令和6年度工学部及び修士課程の学生と工学部長との懇談会における
学生からの意見・要望等への対応状況一覧（令和7年3月現在）**

No.	事項	学生からの意見・要望等	会場での発言（教員から）	対応状況（検討結果等） ※令和7年2月現在
1	学生生活関連	工学部全体の縦のつながりが少ないので、縦のつながりを作る取り組みを導入すれば、学生の孤立防止や学力向上に役立つのではないかと。	学科・コース単位で、入学時の合宿研修・オリエンテーションへの上級生の参加を行っている例もあるため、工学部全体に広げていくことも検討したい。またフィロスの活用も検討していただきたい。	各コース学生主任に共有し、効果的な取り組みがあれば工学部全体として取り組めるよう学生委員会で検討することとした。【工学域学生委員会】
2	学生生活関連	出張理由申請の際に、教員はパソコンで入力したものの提出が認められているのに、学生は手書きのものしか対応してもらえないのをなんとかしてほしい。	確かに現在はパソコンで入力したもので問題ないということになっている。学生だけ認められてないということもないはずなので、会計課に確認したい。	会計課としてはそのような対応を求めているため、学生の出張申請については学域で検討いただきたい【会計課】
3	学生生活関連	この時期になると学内が銀杏で臭くなってしまったため、どうかしてほしい。	この時期は掃除の頻度を増やしているのだが、残念ながら追いついていないのが現状。イチョウの木を伐採するという動きもあり、過去に試算したところ総額で5、600万円かかる計算であり、一度にできることではないため、工学部100周年の中央東門の改修と合わせて徐々に減らしていきたい。	安全確保を主目的とした、キャンパス内樹木の全学的な整備が進行中である。【工学域支援課】
4	学生生活関連	銀杏のにおいについては、協力したいと考えている学生も多くいるため、例えばほうきを設置して学生に協力を仰いでみてはどうか。できれば室内に設置してもらえると、持ち手がよれなくていいと思う。	既にA2号館の玄関付近に設置しているものもあるが、設置箇所の拡充や物置の設置について検討する。	掃除用具について検討中であるが、まずは清掃業者の担当部署に確認し、極力学生の負担を増やさないこととした。【工学域支援課】
5	学生生活関連	宮前通り（東キャンパスとグラウンドの間）で路上喫煙している学生が多く、周辺住民からの印象がよくないため、やめさせてほしい。	これまで張り紙等で注意喚起を行ってきたが、公道での喫煙は大学から強く指導することができない。また、工事業者が吸っている場合等の注意も難しいため、現時点で解決策を明言するのは難しい。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。
6	学生生活関連	サークルの公認を受けるのに1年間の活動期間が必要と言われたが、その場合大学の名前で大会に出場することが出来ずに困っている。そのような場合社会人として参加することになるが、学生メインの大会の場合はそういうわけにもいかないためなんとかならないか。	サークルの継続した活動が見込まれるかを判断する上で、公認に時間がかかることはやむを得ない点がある。学術活動にかかわるものであれば、学科等で独自に教員が支援しているケースがあるため、協力してくれそうな教員に相談してほしい。スポーツや交流活動の場合は過去の実績等が問われ、現時点で解決策を提案するのは難しいが、学術活動同様味方となってくれる教員を探していただくのがよい。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。
7	学生生活関連	就活支援として合同セミナー等を開いていただく場合に、文系・理系合同のものばかりでなく、機械だけとか化学だけといったセミナーを開いていただけると嬉しい。	同窓会組織が主体となってそういったイベントを行っていて、CNS等で発信をしているのだが、残念ながら学生に伝わっていないのが現状。CNS掲示だと情報がすぐに流れて行ってしまう問題はありますが、学生もアンテナを張ってもらえると嬉しい。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。
8	授業関連	遅刻基準が統一されておらず、例えば2回遅刻で1欠席と扱う教員もいれば、3回遅刻で2欠席と扱う教員もいる。また遅刻を遅刻として扱うのか、一定時間を経過した場合に欠席として扱うのかも基準が違うため統一してほしい。	出席端末は10分で遅刻扱いとなる。全学的に統一することは難しいかもしれないが、工学部内での統一は検討できると思う。教育委員会で検討したい。	遅刻の取扱いについては、授業ごとに事情が異なるため、担当教員の裁量に委ねる。ただ、あまりにも極端な場合はクラス担任等にご相談いただきたい。教員には、初回などで取り扱いを案内するように周知したい。【工学域教育委員会】

No.	事項	学生からの意見・要望等	会場での発言（教員から）	対応状況（検討結果等） ※令和7年2月現在
9	授業関連	学会参加や就職活動により授業を欠席した場合の取り扱いが教員によって異なるため、扱いの統一化をお願いしたい。特に学会参加はそれ自体単位取得に係る場合もあるため、なるべく配慮してほしい。	欠席の取扱いは学生便覧に記載があるが、工学部では全学のルールに準ずることになっており、学生に不利益がないように教員が判断することが認められている。学会参加は現時点では認められることになっていないため、個別に対応していきたい。また、長期的な目線では、全学の委員会で学会参加等による欠席の取り扱いについて議論が始まったところなので、検討の結果を待っていただきたい。	学会発表は欠席の取扱いが考慮される例として学生便覧にも記載済みである。ただ、授業ごとに状況が異なるため、判断は当該授業担当教員が行う。【工学域教育委員会】
10	授業関連	近いうちに4学期制になるという話を聞いたが、あまり情報を得ていないため教えてほしい。	来年度から共通科目においてクォータ制を導入する予定であり、前半・後半で同一科目を開講するものもあるので、抽選が通りやすくなる可能性もある。学生にはまだ周知されていないため、出せる情報についてなるべく早く情報提供するようにしたい。	専門科目では2学期制のままなので大きな影響はないと考える。学年暦は大学HPでも公開されているので、そちらを確認していただきたい。【工学域教育委員会】
11	授業関連	一般教養科目の履修抽選において、よく当選している人とそうでない人がいて、不公平さを感じる。	人気科目の場合そういったケースは起こりうるが、科目ごとに抽選を行っているため、不公平さを感じる可能性がある。また、抽選で通ったのにもかかわらず他の科目を取る人がいて、それも問題となっている。抽選の抜本的な改革は必要であるが、全学的な問題であるため解決には時間がかかる。履修登録においては、人気科目かどうかを確認して、バランスよく取ってもらいたい。意見があったことは大学本部に伝える。	全学共通教育科目においては、履修希望者が定員を超えた場合、システム内で無作為に抽選が行われます。同一の曜日時限には、第4希望まで申告できますので「予定定員一覧」により定員数や前年度の抽選状況等を確認し、抽選の有無を想定してできる限り第4希望まで選択してください。令和7年度からのクォーター制の導入に伴う時間割の見直しや定員調整などにより、引き続き学修機会の確保に努めていきます。【教務企画課】
12	授業関連	祝日授業をなくしてほしい。それが無理なら例えば連携授業だけ祝日授業にしてほしい。就活のイベントと重なってしまい困ることも多く、また教職員にも負担がかかっていると思う。	県立大学との連携は、本学ではできない科目を受けられるメリットがある。学年暦の統一においては、県立大が実施していた祝日授業に合わせたところがあるため、みなさんにも協力してもらいたい。ただし、北関東の国公立大学では祝日授業をしている大学はなく、入学検討時にデメリットとなる可能性があるので、評判が悪いということを本部に伝えたい。また、教職員の観点から見た場合、昨今の働き方改革とも逆行している。	月曜日の祝日が多い中で、本学でも授業回数の確保は大きな課題となっていますが、大学全体の日程を考慮すると、夏休みや春休みを長期化できる祝日授業が合理的だと考えています。既に多くの国立大学でも祝日開講が実施されているところです。また、連携開設科目のみを祝日の開講とすることは、県立大学の学年暦と差異が出ることになり現実的ではありません。今後、学年暦については、祝日授業をできるだけ少なくする等の検討を行い、改善を図っていきたくと考えています。【教務企画課】
13	授業関連	コンピュータ理工学科の演習で使用するエディターをEMACSからVisual Studio Codeに変更してほしい。	コンピュータ理工学科で対応を検討する。	コンピュータ理工学科の授業報告計画会の中で検討する。（Visual Studio Codeや他のエディタもインストールはしてありますが、試験などで入力補完機能が使われては困るというケースはあり得ます。）【コンピュータ理工学科】
14	授業関連	修了要件の計算が複雑で、単位を取り忘れてしまったために留年してしまったという学生がいたため、システム上で分かりやすく表示してもらいたい。	教員の間でも、システムを改修した方がいいという教員もいれば、学生自身で履修について検討することも含めて勉強ととらえる教員もいて、意見が割れている。またシステム改修した場合に、バグにより正常に判定されなかった際に誰が責任をとるのかといった点で難しさがある。心配な場合は多めに単位を取得するようにしてほしい。また学生便覧は入学時のものが適用となるため、その点についても改めて学生に理解してほしい。心配な場合は多めにとってもらいたい。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。
15	システム・ネットワーク関連	学園祭等や入試情報等の大学のイベントをCNSの週間・月間スケジュールで見れるようにしてほしい。	現状ではCNSのスケジュールに授業以外を載せることができない。現在CNSの改修を検討しているため、対応してもらえるか相談したい。	現在、次期CNSの導入に向けて準備しており、週間スケジュールには「行事」欄を設ける予定です。【教務企画課】

No.	事項	学生からの意見・要望等	会場での発言（教員から）	対応状況（検討結果等） ※令和7年2月現在
16	システム・ネットワーク関連	授業後のセミナーや講座等が認知がされておらず、参加者が少数に留まってしまうケースがあるため、CNSの週間スケジュールへの表示を検討してはどうか。	現状ではCNSのスケジュールに授業以外を載せることができない。現在CNSの改修を検討しているため、対応してもらえるか相談したい。	次期CNSにおいても、個々のイベント情報等は週間スケジュールで表示させることができません。引き続きCNS掲示の活用及び確認をお願いします。【教務企画課】
17	システム・ネットワーク関連	B3号館のWifi環境が悪いため改善してほしい。	関連部署に確認したい。 具体的な場所を確認したいのでまた教えてほしい。	・廊下に無線LANアクセスポイントを設置しておりますが、建物全体はカバー出来ていないのは把握しております。各部屋までは壁などの障害物により電波が減衰してしまうことや、各研究室等で設置されている無線LANアクセスポイントと電波干渉してしまうことで建物全体をカバーするためには、より多くの台数を設置する必要がありますが、増設には多額の費用がかかるため、対応出来ないのが現状です。2022年度の教育研究用情報システムリプレイス時に、教室の無線LANアクセスポイントの増強は実施しましたので、電波状況が良い所に移動して頂くか、研究室などは、無線LANルータを設置して頂く方向で対応していただけだと思います。 ・次回2027年度の教育研究用情報システムリプレイス時には、通信環境の改善を、検討材料の一つとして考慮していきます。【情報システム課】
18	施設設備等関連	KKI教室のドアストッパーがブロックで危ない。	コンピュータ理工学科で対応する。	
19	施設設備等関連	昇降用の駐車場を作ってほしい。	総合案内所前のロータリーが昇降用スペースとなっているので活用してほしい。また、守衛さんに相談した場合に、曜日・時間次第では停められる場合もある。学生向けに案内するようにしたい。	ガイダンス等で周知いただくように情報を共有した。【工学域学生委員会】
20	施設設備等関連	東キャンパス内の女子トイレの音姫の電池が切れている箇所が多い。把握している限りでは、A3号館とA2号館で、他にもあると思う。	確認して対応する。	確認して適宜対応する予定である。【工学域支援課】
21	施設設備等関連	A2号館の女子トイレが臭うときがある。また、T1号館の女子トイレは上の階に行くほど汚くなるので、1階と同じくらいきれいにしてもらえるとうれしい。	確認して対応する。	A2号館の男女のトイレを確認したが、臭気は確認できなかった。たまに起こる現象とも考えられるが、臭気が上がった際には「内線1199」まで連絡をいただきたい。また、T1号館の各階、男女のトイレ状況を確認したところ、経年劣化により床シート剥がれ・汚れが確認できた。トイレの改修については予算の都合もあり時間がかかっているが順次整備を行っているところである。【施設企画課】
22	施設設備等関連	T1号館のトイレの便座が冬は冷たい。入試で来る高校生のことも考えて、暖房便座の導入を検討してほしい。暖房便座が難しければ、保温用のシートを検討してほしい。	シートタイプは衛生管理上難しい。また、ウォシュレットもまだ全てのトイレに設置できているわけではないので、時間はかかるかもしれないが対応したい。	各階、男女の便座状況を確認したところ、暖房便座はすべてに設置されており、故障している箇所はなかった。また、省エネのため便座の温度を低く設定していることから、あまり温かく感じなかったとも考えられる。冷たいと感じた際には手元で温度調整を行っていただきたい。なお、調整の仕方が不明の際には「内線1199」まで連絡をいただきたい。【施設企画課】
23	施設設備等関連	B1号館で開錠システムが導入されているドアが少ないので、全てのドアを学生証で開けられるようにしてほしい。	関連部署に相談したい。	セキュリティの設置は高額な工事費がかかるだけでなくメンテナンス費も必要であるため、主要部の扉に設置をしている。工学域で必要性などをご検討の上、増設を希望される場合は、学内要求などで対応願いたい。【施設企画課】
24	施設設備等関連	大学構内のローソン横にある駐輪スペースが10時以降混雑しており、自転車が出しづらかったり止めづらかったりする。 解決策として駐輪場の増設や、三角コーン等の活用・駐輪場マップの掲示で混雑緩和を行ってほしい。また他大学では放置自転車を回収して新入生向けに譲渡する取り組みがあるため、取り入れてはどうか。	現在、T1号館の中庭を整備して駐輪場を整備することを検討している。また、中央東門横の駐輪場の増設や藤棚部分の活用を検討したい。また放置自転車については、撤去を行っているところである。	ゼロエミッションミライラボ、共創環境棟の東側（B1号館側）駐輪場を整備することとしている。なお、今後もキャンパス整備計画や動線計画などを踏まえ、大学全体で検討を行っていきたい。【施設企画課】

No.	事項	学生からの意見・要望等	会場での発言（教員から）	対応状況（検討結果等） ※令和7年2月現在
25	施設設備等関連	路上喫煙が増えているのは、元々学内にあった喫煙所が廃止されたのが原因ではないか。学内でも学外でも禁止するというのは喫煙者から見れば酷な話であるため、学内に喫煙所を再設置してはどうか。	喫煙所の撤去は大学全体の方針のため、再設置することの難しさはある。ただし建設的な意見であることは確かなため、大学本部に伝えたい。	本学における敷地内全面禁煙の実施については、第207回役員会（平成元年5月31日開催）で審議・承認されておりますので、当課としてはその決定に従い運用すべきものと認識しております。【職員課】
26	施設設備等関連	Coの花支援で余った生理用品をトイレに設置することはできないか。トイレに設置してであると安心感につながる。	ただ設置するだけでは衛生面に問題がある。専用機器を設置するとすると、予算面で制約が出てくるため、すぐの対応は難しいかもしれないが、関係部署に要望を伝えたい。	男女共同参画推進室では、生活困窮者の方を主な対象として行っており、生理用品も寄附や防災用品の入れ替え品で対応している状況です。大学全体のトイレに設置となると生理用品の購入以外に補充作業・盗難などの対応にも費用が発生するものと思われます。大学の事業として実施を要望するようでしたら、しかるべきルートでの検討をお願いします。【男女共同参画推進室】
27	施設設備等関連	大学や研究室のライセンスではアクセスできない論文が多くあるため、より多くの論文にアクセスできるようにしてほしい。また、大学のライセンスでジャーナルにアクセスできることを知らない学生が多くいるため、学生に周知して欲しい。	大学のライセンスについては図書館が管轄であるため、希望を伝えるようにする。ただしジャーナルの購読料は年々高額になっていて、全国の大学で契約の削減にあるため、改善が難しいこともご理解いただきたい。また契約の継続については前年度のアクセス数等の実績が考慮されるため、みなさんによりアクセスしていただけるよう周知したい。	電子ジャーナルについては毎年価格が高騰しており、現在のライセンス数（電子ジャーナル契約タイトル数）の拡充は難しい状況であり、国内のほとんどの大学が同じ状況にあります。この状況を受け、東北大学を中心に文部科学省の協力を得て、電子ジャーナル出版社との団体価格交渉組織の設置を検討中であり、この効果等により価格が低減すれば学内の意見を聞いたうえで拡充を検討したいと思います。。なお、現行ライセンス数についても活用数が低いものは学内基準により削除対象になる場合があるので積極的に活用ください。活用方法については附属図書館HPに掲載することや、CNS掲示板に定期的に掲載する等の周知方法を検討して早期に進めたいと思います。【図書・情報課】
28	施設設備等関連	図書館の館内に食事スペースを設けてほしい。	関連部署に相談したい。	図書館内における飲食は、資料汚損の直接の原因になるだけでなく、害虫による汚損の原因にもなるため、原則不可としています。飲料については、利用者の体調に配慮するため可としています。以前は自販機コーナーを食事スペースとしていましたが、換気扇がなく食事のにおいが充満していたことから、現在はドリンクのみ可としています。事情をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。【図書・情報課】
29	施設設備等関連	発生工学研究センター脇の通路を通っていると、異臭がすることがあるので、対応してもらえとうれしい。	発生工学研究センターに確認したい。	確認中
30	施設設備等関連	学生が自習できるスペースが少ない。	A2号館1階ロビーやフィロスを積極的に活用していただきたい。 講義室等の開放はエネルギー効率最適化の観点から難しい。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。
31	施設設備等関連	学内の学習スペースとして、個室のワークスペースを設けることはできないか。コロナ以後、面接や講義のオンライン対応が増えたため活用する機会が多くあると思う。	大学内のスペースは限られているため、すぐにとというのは難しい。今後、新棟の建設の際に検討したい。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。
32	入試関連	進学を検討する生徒向けの広報が不十分ではないか。例えば他大学等の例を参考に女子生徒向けに特設のホームページを用意するなどの取り組みを検討していただきたい。	広報が下手という指摘は昨年もあった。他大学の例を調査する中で、県内高校に出向いての広報活動の際に、その高校のOBである本学学生を連れて行くという取り組みがあったため、工学部でも導入を検討しているところである。 ホームページについては、予算の制約もあるため、広報委員会で検討の上、予算がついたときに対応したい。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。
33	入試関連	工学部は広報活動が下手なのではないか。例えばコンピュータ理工学科では、自発的な学習の結果、IPAの高度情報処理技術者試験に合格した学生がいるが、そういった情報を広報資源に使用できるとは考えないのか。専門学校では同様の試験合格で新聞に掲載された事例がある。	まずは各学科の先生から情報を吸い上げる必要があるため、連絡体系について確認したい。また、各種受賞の結果については、A2号館1階の展示スペースを活用していく予定である。	会場での発言が最終回答。 工学部としての対応はなし。